

MySQL 5.1.34 リリースノート（日本語翻訳）

修正されたバグ:

- レプリケーション: **重要な注意事項:** ログに記録する変更で 252 以上のカラムが含まれていると、`--binlog format=ROW` を使用したバイナリログが失敗した。この問題が混合形式またはステートメントベースのログで発生することは認識されていなかった ([Bug#42977](#))。

[Bug#42914](#) も参照。

- レプリケーション: 無効なディレクトリを `--slave-load-tmpdir` に対して割り当てると、レプリケーションスレーブがクラッシュした ([Bug#42861](#))。
- レプリケーション: `mysql.procs_priv` システムテーブルは複製されなかった ([Bug#42217](#))。
- レプリケーション: `TIMESTAMP` カラムへの `INSERT DELAYED` が、同じカラムに対する `DELAYED` 未使用の挿入と同時に発行され、その挿入の後に適用された場合、`INSERT DELAYED` は、`DELAYED` 未使用の挿入によって生成されたものと同じタイムスタンプを使用してログに記録された ([Bug#41719](#))。
- レプリケーション: `LOAD_FILE()` 関数を含むステートメントの場合、`MIXED` バイナリログ形式が行ベースのモードに切り替わらなかった ([Bug#39701](#))。
- レプリケーション: サーバ SQL モードに `IGNORE SPACE` が含まれている場合、`LOAD DATA INFILE ... INTO tbl name` はバイナリログから正しく読み込まれなかったため、このステートメントのステートメントベースのレプリケーションは失敗した。つまり、後続スペースが省略されたため、このステートメントはスレーブでの実行時に構文エラーを発生して失敗した ([Bug#22504](#))。

[Bug#43746](#) も参照。

- `SUPER` 権限のないユーザがシステムスレッドを強制終了しようとする、サーバがクラッシュする可能性があった ([Bug#43748](#))。
- Windows では、リンク依存関係が `CMakeLists.txt` で正しく指定されていないと、`mysql_embedded`、`mysqltest_embedded` および `mysql_client_test_embedded` に対するリンクエラーが発生した ([Bug#43715](#))。

- 先行する SET sql_select_limit=0 ステートメントをクライアントが実行した後などに、現在のデータベース名を要求して空の結果が返されると、[mysql](#) がクラッシュした ([Bug#43254](#))。
- version_comment システム変数の値が長すぎる場合、[mysql](#) クライアントは切り捨てられた起動メッセージを表示した ([Bug#43153](#))。
- 以下の形式のクエリは、空の結果を返した。

```
SELECT ... WHERE ... (col=col AND col=col) OR ... (false expression)
```

([Bug#42957](#))

- ソースディストリビューションには、strings/CHARSET_INFO.txt ファイルが含まれていなかった ([Bug#42937](#))。
- mysys/my_error.c にダングリングポインタがあると、クライアントがクラッシュする可能性があった ([Bug#42675](#))。
- 不明なタイムゾーン指定を CONVERT TZ () に渡すと、メモリリークが発生した ([Bug#42502](#))。
- 3つ以上の引数を使用すると、LEAST ()、GREATEST ()、および CASE は Illegal mix of collations というエラーを不必要に返す可能性があった ([Bug#41627](#))。
- 行が内部バッファよりも長い場合は、[mysql](#) クライアントが入力を正しく解釈しない可能性があった ([Bug#41486](#))。
- [mysql](#) によって表示された help コマンド出力では、¥c (clear) コマンドの説明が誤解を招くような内容になっていた ([Bug#41268](#))。
- マルチスレッド操作では、C クライアントライブラリの load_defaults ()、my_search_option_files ()、および my_print_default_files () 関数が競合状態になりやすかった ([Bug#40552](#))。
- --basedir を指定した場合、mysqld safe は my_print_defaults の検索時に --basedir を使用しなかった ([Bug#39326](#))。
- --with-max-indexes=128 オプションを使用して MySQL を構成すると、[mysqld](#) がクラッシュした ([Bug#36751](#))。
- join_buffer_size 変数を最小値に設定すると、間違った警告が発生した ([Bug#36446](#))。
- ソースカラム式がローカル変数を参照する場合、NAME CONST () を使用すると、CREATE TABLE ... SELECT ステートメントで問題が発生する可能性がある。これらの参照を NAME CONST () 式に変換すると、マスターサーバとスレーブサーバとで異なるカラム名や、長すぎて正しいカラム識別子にならない名前が生成されることがある。対処法として、ローカル変数を参照するカラムのエイリアスを入力する。

現在は、起こりうる問題を示す場合に警告が発行されるようになっている
([Bug#35383](#))。

- サーバクラッシュの影響を受けた ARCHIVE テーブルのチェックまたは修復を試みると、144 内部エラーが返され、データは回復不能のように見受けられた
([Bug#32880](#))。
- [SHOW PROCESSLIST](#) 出力の Time カラムと、[INFORMATION_SCHEMA.PROCESSLIST](#) テーブルの Time カラムの値には、負の値を使用できるようになった。以前の符号なしの Time カラムでは、負の値は大きな正の値として間違って表示されていた。スレッドが [SET TIMESTAMP = value](#) を使用して時間を先に進めた場合や、スレーブで実行されているスレッドが、スレーブよりも時計が進んでいるマスタからのイベントを処理している場合は、負の値が発生する可能性がある ([Bug#22047](#))。
- FEDERATED テーブルを含む [mysqldump](#) ダンプファイルには FEDERATED テーブルのデータが入っていたため、このダンプファイルの復元は失敗した。現在は、テーブル定義だけがダンプされるようになっている (データが別の場所に置かれているため) ([Bug#21360](#))。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。